

事務事業名		簡易水道送配水管等施設整備事業		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画掲載事業	<input type="checkbox"/> 総合戦略掲載事業																									
政策体系	政策名	04 潤いに満ちた快適な生活環境の創造		事業期間																										
	施策名	15 良好な生活空間の創造		区分																										
	基本事業名	02 水道の整備と水の安定供給		単年度繰返																										
根拠法令		水道法		※期間欄に開始年度を記入																										
所属	部課名	上下水道部水道課		【開始年度】																										
	課長名	後藤 浩靖		14 年度～																										
	係名	庶務係	電話	0192-27-3111																										
	担当者	船砥 元	内線	172																										
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)				全体計画(※期間限定複数年度のみ)																										
導送配水管の耐久性向上を図り、水道水の安定供給を図るため、水道管の布設替(更新)を行う。				<table border="1"> <tr> <td rowspan="7">総投入量 (千円)</td> <td rowspan="4">事業費</td> <td>財源内訳</td> <td>国庫支出金</td> <td></td> </tr> <tr> <td>都道府県支出金</td> <td></td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td></td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td></td> </tr> <tr> <td>事業費計(A)</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">人件費</td> <td>正規職員従事人数</td> <td></td> </tr> <tr> <td>延べ業務時間</td> <td></td> </tr> <tr> <td>人件費計(B)</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td colspan="2">トータルコスト(A)+(B)</td> <td>0</td> </tr> </table>		総投入量 (千円)	事業費	財源内訳	国庫支出金		都道府県支出金		地方債		その他		一般財源		事業費計(A)	0	人件費	正規職員従事人数		延べ業務時間		人件費計(B)	0	トータルコスト(A)+(B)		0
総投入量 (千円)	事業費	財源内訳	国庫支出金																											
		都道府県支出金																												
		地方債																												
		その他																												
	一般財源																													
	事業費計(A)	0																												
	人件費	正規職員従事人数																												
延べ業務時間																														
人件費計(B)		0																												
トータルコスト(A)+(B)		0																												

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動)	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
前年度実績(前年度に行った主な活動)	名称	単位
・配水管布設替に伴う詳細設計 1件 ・配水管布設替工事 3件	ア 送配水管布設延長	m
今年度計画(今年度に計画している主な活動)	イ 消火栓設置	基
令和6年4月に水道事業と事業統合したことから、本事業は水道事業(事業名:水道施設改良更新事業)に引き継がれる。	ウ	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)	
布設替が必要な導送配水管	名称	単位
	カ 切替が必要な送配水管	m
	キ 新規布設が必要な配水管	m
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	ク	
適切に維持管理、更新される	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
	名称	単位
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)	サ 無効水量	m <sup>3</sup>
住みやすい生活環境になる。	シ 配給水管等の漏水修理件数	件
	ス 送配水管布設替延長	m

(2) 総事業費・指標等の推移

投入量	事業費	財源内訳	年度	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	5年度(実績)	6年度(目標)	7年度(目標)
			単位						
投入量	事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0		
		都道府県支出金	千円	0	0	6,670	40,301		
		地方債	千円	12,300	30,300	69,500	72,800		
		その他	千円	1,251	5,658	8,438	13,411		
		一般財源	千円	0	0	0	0		
	人件費	事業費計(A)	千円	13,551	35,958	84,608	126,512	0	0
		正規職員従事人数	人	2	1	1	4		
		延べ業務時間	時間	200	100	100	900		
		人件費計(B)	千円	800	400	400	3,600	0	0
		トータルコスト(A)+(B)	千円	14,351	36,358	85,008	130,112	0	0
⑤活動指標	ア	m	110,986	110,986	110,782	110,830			
	イ	基	240	240	240	240			
	ウ								
⑥対象指標	カ	m	79.1	194.7	931.8	1,447.6			
	キ	m	-	-	-	-			
	ク								
⑦成果指標	サ	m <sup>3</sup>	290,136	227,820	176,739	180,044			
	シ	件	11	11	22	19			
	ス	m	79.1	206.6	454.2	1,352.0			

事務事業ID	0711	事務事業名	簡易水道送配水管等施設整備事業
--------	------	-------	-----------------

<b>(3) 事務事業の環境変化・住民意見等</b>	
① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？	水道管の耐久性には限りがあるため、管路更新は必須的な事業である。
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは前期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？	・道路嵩上げ等の復興関連工事に伴い、布設替えを要する場合、担当課との調整が必要になってきている。 ・給水人口の減少に伴い、配水管等の布設替の際は、口径を小さくするなど適切な施設整備の検討が必要となっている。 ・簡易水道事業は、地理的な要因から給水効率が悪く、水道料金のみでの経営が困難なことから、持続的な事業運営と経営基盤の強化を図るため、令和6年4月に水道事業と事業統合した。
③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？	過去に、越喜来字井戸洞と吉浜字増館の住民から、議会を通じて水道本管布設の要望が寄せられたことがある。既存管からの分岐距離が長く、住宅戸数も少ないため、布設できないことを回答している。

2 評価の部(SEE) \* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <span style="float:right">▽ 理由・内容</span> この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつか？意図することが結果に結びついているか？ 簡易水道施設の整備は、安全な水を安定的に供給することにつながり、その結果、快適な都市環境の整備につながる。
	② 公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <span style="float:right">▽ 理由・内容</span> なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？ 上水道の整備は水道法で定められた地方公共団体の義務であり妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である <span style="float:right">▽ 理由・内容</span> 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？ 重要路線や老朽度合を勘案して、更新の優先度を決定している。
有効性 評価	④ 成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない <span style="float:right">▽ 理由・内容</span> 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？ 管路の耐久性向上を目的とした事業であり、効果の派生は期待できない。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <span style="float:right">▽ 理由・内容</span> 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？ 事業を廃止・休止すれば、漏水の発生や地震時に断水が発生する可能性が上昇することから影響があるが、令和6年4月に水道事業と事業統合し水道維持管理事務は、水道事業に引き継がれた。
効率性 評価	⑥ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <span style="float:right">▽ 理由・内容</span> 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など) 送配水管の布設替えは工法に限られるため、削減の余地はない。
	⑦ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <span style="float:right">▽ 理由・内容</span> やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託できないか？(アウトソーシングなど) 必要最小限の人数で対応していることから、削減の余地はない。
公平性 評価	⑧ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <span style="float:right">▽ 理由・内容</span> 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？ 簡易水道使用者から給水負担金及び水道料金を徴収しており、負担は適正である。

3 今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 改革改善の方向性	(2) 改革・改善による期待成果	(3) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等																		
3 終了・廃止・休止	<table border="1" style="width:100%; text-align:center;"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上			維持		×	低下	×	×	簡易水道事業は、地理的な要因から給水効率が悪く、水道料金のみでの経営が困難なことから、持続的な事業運営と経営基盤の強化を図るため、令和6年4月に水道事業と事業統合した。 これにより、本事務事業は水道事業(事業名:水道施設改良更新事業)に引き継がれ、廃止となる。
	コスト																			
	削減	維持	増加																	
成果	向上																			
	維持		×																	
	低下	×	×																	
※(1)改革改善を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入。 (現状維持の場合、コスト及び成果は「維持」) (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																				

4 課長等意見

(1) 今後の方向性	(2) 全体総括・今後の改革改善の内容
3 終了・廃止・休止	令和6年4月に水道事業と事業統合したことから、本事務事業は水道事業(事業名:水道施設改良更新事業)に引き継がれ廃止となる。